

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業名	戦没者追悼式推進事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	O4	4節	誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	社会福祉課			
施策	4-5	地域で支える福祉のまちづくり		主管課長	豊田 武彦			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	先の大戦における本市関係戦没者の遺族等	意図	戦没者に追悼の誠を捧げるとともに、恒久平和を祈念する。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 遺族等が一堂に会し、追悼の誠を捧げる式典を開催し、恒久平和を祈念し、平和施策推進を図る。 戦没者遺族が高齢化しているため参列者の送迎を行い、事業推進を図る。 			
事業開始から現在までの状況変化	<ul style="list-style-type: none"> 戦後71年が経過し、戦没者遺族の高齢化が進み、参加者は減少傾向にある。 例年、文化会館で開催していたが、参加者の減少により、平成21年度より会場を生涯学習センターに移した。 			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	追悼式の参列人数	152	152	152	人	↓↓↓
②	遺族会会員数	222	215	212	人	↓↓↓	
③	バス利用申込者	56	55	28	人	↓↓↓	
④							
⑤							
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果				目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）
事務事業のコスト	平成26年度	平成27年度	平成28年度	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・戦没者遺族の高齢化が進み、参加者は減少傾向にある。 ・これまで戦没者の妻、兄弟、子が中心となっていたが、高齢化により、参加が難しくなっている。 ・子から孫へ世代交代の時期であるが、世代の違いからか伝承が難しい状況である。
事務事業の総コスト(a=b+c)	1,495,697	1,832,756	1,776,734	
事業費(b)(円)	735,597	758,036	759,414	
うち一般財源	735,597	758,036	759,414	
職員給与と費(c)(円)	760,100	1,074,720	1,017,320	
人役・職員(人)	0.11	0.08	0.08	
人役・再任用(人)		0.12	0.12	
人役・臨職(人)				
人役・嘱託(人)				
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）				
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）				

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H28)の改善計画	遺族会組織を通じて参加を促し、事業の継続を図る。	③取組の課題	遺族の高齢化による参加者の減少。
②今年度(H28)に実施した取組	流山市遺族会総会にて、会員へ追悼式への参加を促した。	④今後の改善計画	遺族の高齢化、遺族であることの次世代への伝承の難しさにより参加者減少は避けられないが、恒久平和のため事業を継続していく。